

存続には地元の「利用」「熱意」が問われる 【保科温泉線バス】

どんなカタチで残せるか？

電車もバスもない若穂にたくない！存続を訴える6・24緊急集会に160人余



多くの発言がありました・・・

前半は長電バス(株)湯本社長からの説明。恒常的に赤字となっている保科温泉線については「廃止したい」とする。26年度から市の補助金(赤字の1/2)が打ち切られることも背景の一つ。同席した市交通政策課は、「6月26日に地域公共交通会議を開催するが現段階での対応は未定」とした。後半は存続に向けた要望集会に移行。長電バスの経営が厳しい環境にあることは伝わったが、保科温泉線は若穂の南部地域と市中心部を結ぶ生活路線。会場いっぱいの参加者からは、市の財政支援を含めて存続を求める声や提案が相次いだ。

26日の地域公共交通会議には、参考人として坂口義行保科区長会長と上田聖二保科振興開発委員長が出席して存続を訴えた。この日は保科温泉線について廃止を結論付けず、「存続の方向」で市が「対応策」をまとめ「次回会議で検討」することに。が、今年度の赤字見込み額は約840万円。補助金に対する市の姿勢は厳しく現行のまま存続できるかどうかは予断を許さない。問われるのはどれだけ利用があるか？利用が見込まれるのか？まずは「乗って残す」。そこに、「乗る機会は少ないが路線は残したい」思いも載せて、目に見える地元としての取り組みが必要となっている。



(この日の交通会議は、綿内剛美会長ら4人も傍聴しました)

7月17日の第3回理事会(自治協役員と代表区長)・臨時区長総会で存続に向けて若穂の対応協議

《 アンケート 》

今回は保科・川田の全戸を対象に、保科温泉線バスの利用実態や今後についてアンケートを実施します。近日中に配布しますが、市や長電バスと協議する上でも大変重要な資料となりますのでご協力ください。なお、第2弾の調査も予定しています。

《 要望署名 》

市長あての『存続要望署名』も実施します。長電バスは8月末にも国への「廃止届」を予定しており、ことは急を要します。この署名は綿内も含め全地区でおこないます。

緊急に、まずは3つ！

《 緊急・区民集会 》

「平均乗車密度」「おでかけパスポート」・・・ご存知ですか？知らないことも多いのです。現況・現状をお伝えし、皆さんのご意見もお聞きするため保科・川田では緊急の区民集会を開催します。多忙な時期ではありますが、若穂の重大問題。ご家族(中・高生も)も一緒に、多数ご参加ください。

おおぜいきてね！「ちびっこぼんおどり」は8月3日(日)午後5時～7時・若穂中央公園



- みんなでおどろう！
(アンパンマンおんど・エビカニックス・夏だよドンと音頭だよ・・・など)
- みんなでたのしもう！
(おかしコーナー・ヨーヨーつり・チューチューアイス・ジュースコーナー)
- みんなでおねがいしちゃおう！
(たんざくコーナー) =雨天の場合は若穂支所2階に会場変更=

今年の夏も福島県から保科温泉に・・・若穂の夏、信州の夏を楽しんで！
市(危機管理防災課担当)による受け入れは7月26日から8月16日まで。現在のところ、17家族が訪れる予定です。若穂自治協は例年のように、ボランティアの「おひさまプロジェクト2014」(綿内剛美リーダー)を編成して、おもてなしにあたります。皆さんからのカンパ、ボランティア支援、イベント招待などのご協力にお礼申し上げます。



「放水始め！」「ヨシ！」 消防団ポンプ操法で若穂第3分団は見事な成績



6月29日の長野市大会に出場したのは16チーム。激戦の中、若穂代表の第3分団(宮澤度分団長)は2位となり、7月13日の長野消防協会大会へ進出。ここでも3位と見事な成績でしたが、残念ながら県大会へのキップは1枚だけ。この間、選手は連日にわたる若穂伝統の猛練習！スピードと的確さが、いざという時の決め手です。来年は第4分団が出場。若穂の団員数は総勢174名、地域の安心・安全を守ります。それにつけても火の用心！

猛練習を支えたご家族の皆さん・消防職員の皆さん・消防団の仲間たち、ごくろうさまでした。

【出場選手】 指揮者:玉川健次 ・ 1番員:深沢正規 ・ 2番員:宮沢陽一 ・ 3番員:北島尚明 ・ 補助員:竹森聡 (敬称略)

『ながのとびっくラン in わかほ』は10月26日(日)に開催されますが、7月17日現在で582人がエントリー。みなさんも走ってみませんか！詳しい内容は実行委員会ホームページをご覧ください。

(申し込み締め切りは9月15日)

◇ HP アドレス <http://tobicrun.jp>

◇ 【お問い合わせ】 050-3583-5881

信大生とコラボ 若穂の「まちづくり計画」で



7月14日保科温泉線のバスで若穂に見えたのは、信大工学部建築学科の高木研究室一行12名。これは今年度、若穂自治協が「まちづくり計画」を策定

する上で協力を依頼したものだ。この日は初回で、3コースに分かれて自治協スタッフが若穂をご案内しました。(写真をパチリ)

【お知らせ】 理事会を公開へ 》 》 》 》 》 》 》

理事会は総会に次ぐ決定機関で、ほぼ毎月開催されてさまざまな自治協活動について論議しています。より開かれた若穂の自治協を目指して、今後は原則として公開することになりました。第4回理事会は8月21日(木)午後3時～・若穂支所2階。議題は◆保科温泉線存続 ◆「まちづくり計画」・・・などを予定しています。